

教科 科目名	数学	単位数(週あたりの授業時数)	2 単位
	数学A	履修学年(類型)	1 学年 普通科
教科書名(出版社名)		高等学校数学A(数研出版)	

### ●学習到達目標

場合の数と確率、図形の性質、数学と人間の活動について理解させ、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばす。更に、数学的な見方や考え方の良さを認識でき、主体的に学びに向かう態度を育てる。

### ●学習計画

学期	月	単元名	学習内容
2	10	① 場合の数と確率	① 場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できる。また、具体的な事象の考察などを通して、順列・組合せや確率について理解し、不確定な事象を数量的にとらえることの有用性を認識するとともに、事象を数学的に考察し処理できるようにする。
	11	① 場合の数と確率 ② 図形の性質	① 具体的な事象の考察などを通して、順列・組合せや確率について理解し、不確定な事象を数量的にとらえることの有用性を認識するとともに、事象を数学的に考察し処理できるようにする。 ② 三角形や円などの基本的な図形の性質についての理解を深め、図形の見方を豊かにするとともに、図形の性質を論理的に考察し処理できるようにする。
	12	② 図形の性質 ③ 数学と人間の活動	② 三角形や円などの基本的な図形の性質についての理解を深め、図形の見方を豊かにするとともに、図形の性質を論理的に考察し処理できるようにする。 ③ 数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解し、それぞれの、関心に基づいて発展させ考察できるようにする。また、パズルなどに数学的な要素を見だし、目的に応じて数学を活用して考察できる。

### ●観点別評価

3観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	数学的に意味づけや解釈しながら数学的に表現・処理したりすることができ、数学のよさに気づくことができる。	粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断しようとすることができ、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性をもつことができる。	問題を自立的・協動的に解決する過程を遂行することができ、さらに統合的・発展的に考察することができる。
B	数学的に表現・処理したりすることができ、数学のよさに気づくことができる。	粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする事ができ、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度をもつことができる。	問題を自立的・協動的に解決する過程を遂行することができる。
C	数学的に表現・処理したりすることができる。	数学的論拠に基づいて判断しようとする事ができ、問題解決の過程を振り返って考察を深めたりすることができる。	問題を自立的に解決する過程を遂行することができる。
評価方法	定期テスト 単元別テスト 課題の取り組み	定期テスト 単元別テスト 課題の取り組み	グループ活動での取り組み 数学の自由研究
評価の重み	$\alpha=0.5$	$\beta=0.3$	$\gamma=0.2$